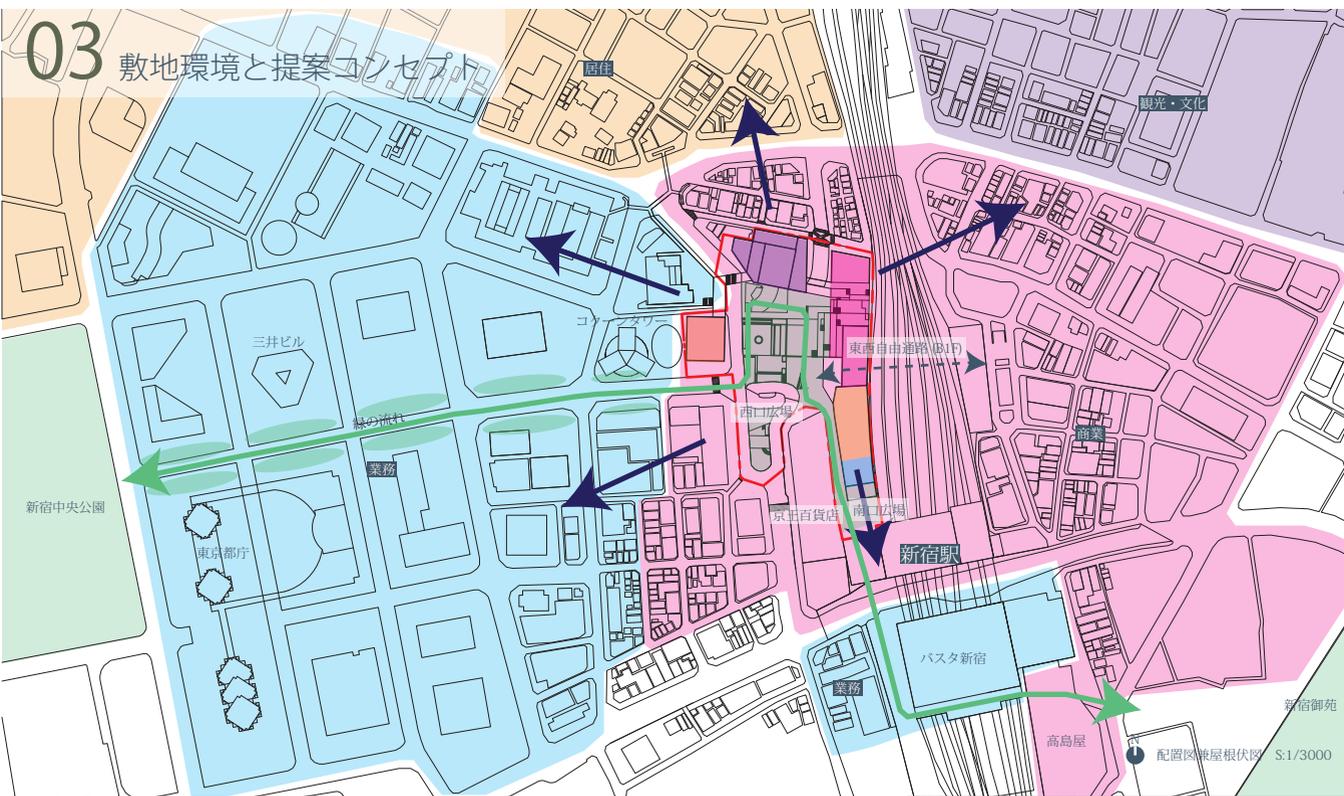


03 敷地環境と提案コンセプト



駅によって分かれた東西は賑わいにおいて大きな差を持つ。これは商業や観光・文化の人が駅業のために集まる機能を持つ東口に対し、居住や業務の機能を持つ西口は利用者が限られるためである。

そこで西側にも賑わいの拠点となる場を提案し、都市の活性化を図る。西側の拠点として入り口となる新宿西口駅前広場を敷地範囲とする。

さらに業務・商業・観光・文化と新宿の持つ多機能性を取り入れた小さな新宿駅を作り、そこから広がっていく拠点を作り上げていく。

エリアと賑わいの拠点

かつての副都心の機能として都心部に人を送り届けるために発展していった交通網は歩行者を地上から地下へと追いやることとなった。

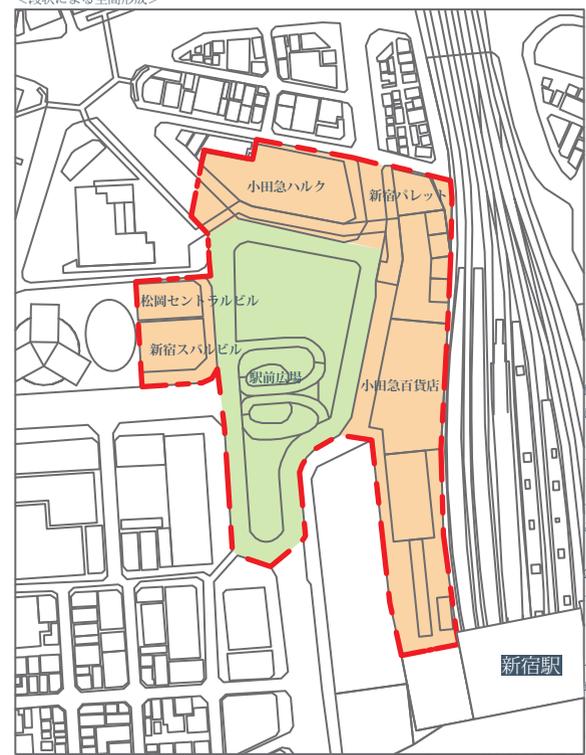
敷地となる新宿西口駅前広場

- バス停留所
- タクシー乗り場
- 地下駐車場
- 西側に行くための道路

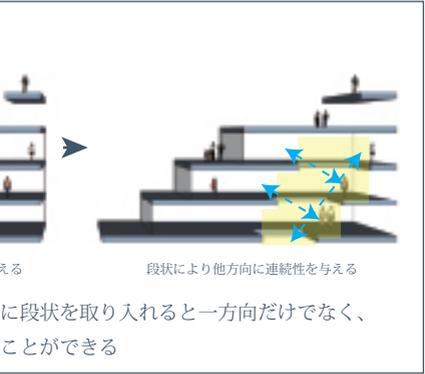
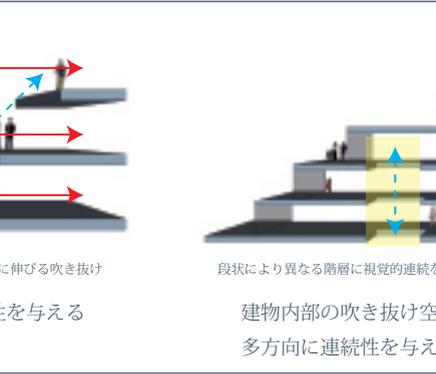
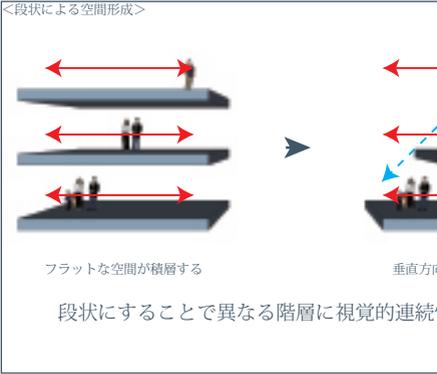
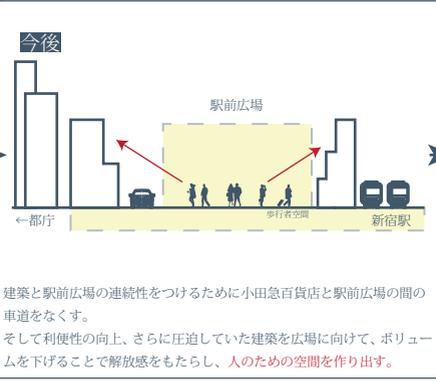
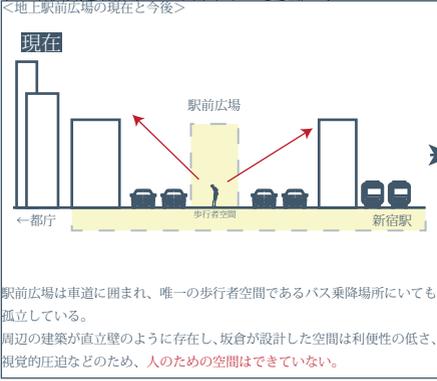
交通結節機能として利用

駅前広場を交通ターミナルとして活動拠点を維持しつつも車でなく歩行者が回避する場都市、さらに交流機能を取り入れることで賑わいをもたらす。

活動拠点としての維持と人のための駅前広場

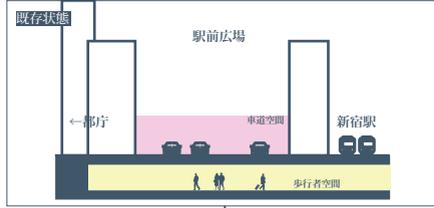


- 敷地範囲 約45000㎡
- ・新宿西口立体交通広場
 - ・小田急百貨店
 - ・小田急ハルク
 - ・新宿スパルビル
 - ・新宿パレット
 - ・松岡セントラルビル
- を含む敷地とする
- 既存の建築である新宿西口立体広場と小田急百貨店は建築家坂倉準三によるものである
- <坂倉準三によって建築された新宿の特徴>
1. シンボルである大きな穴の開いた立体交通広場
→駅前広場であるが交通結節機能に特化した車のための空間となっている
 2. 周辺を巻き込んだ小田急百貨店の統一ファサード
→統一ファサードにより一体感はあるが、ファサードと連携していない内部の空間
- そこに小田急電鉄による再開発計画を取り入れ、広場の周辺建築を含んだ範囲を敷地とする



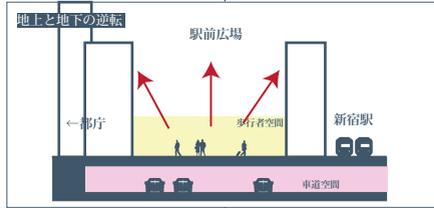
04 新宿駅西口立体広場

＜車道と歩行者空間の見直し＞



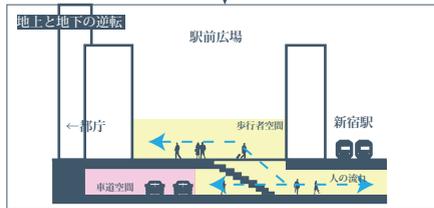
地上—車道空間
地下—歩行者空間

交通機能に発展した代用として地下に広がる歩行者空間は天井や壁に囲まれ、閉鎖的印象を与える



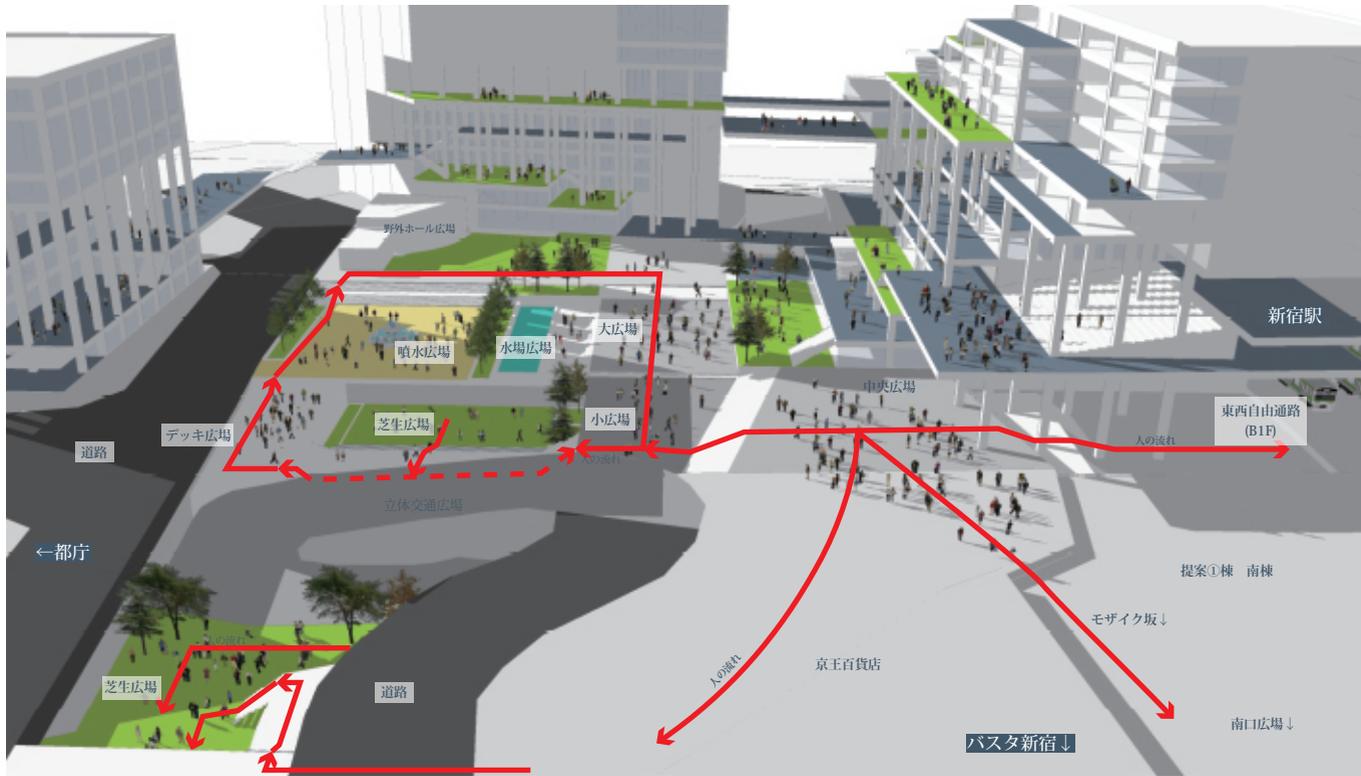
地上—歩行者空間
地下—車道空間

地上と地下のそれぞれの利用方法を逆転することで歩行者空間に天井や壁がなくなり開放的空間が形成される。



地上—歩行者空間
地下—車道空間、歩行者空間

地下に広がる広大な歩行者空間は駅とまちの重要な結節部分であるため地上に移した歩行者空間と連携させる。これにより、歩行者空間の回避性が高まり、地下にも開放的空間を与える。



05 小田急ビル群

＜位置関係と機能＞

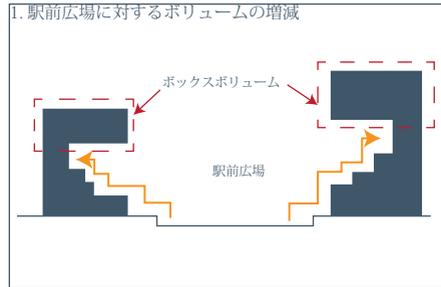


活動拠点でありエリアの拠点でもあるため、新宿駅周辺を囲う4つのエリア(居住、業務、観光・文化、商業)のプログラムを含む建築物とする。しかし、居住については宿泊できるホテル都市、あくまでもこの空間を発信する場である活動拠点として機能させる。

＜共通形態がキャバラリ＞

駅前広場を囲む3棟は新宿駅西口の顔をつくる建築として共通キャバラリを用いて設計を行う。

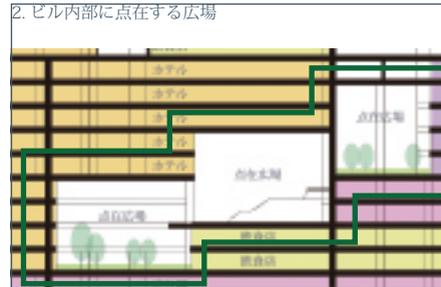
1. 駅前広場に対するボリュームの増減
2. ビル内部に点在する広場
3. 異なる階層、機能をつなぐ吹き抜け空間
4. 外部と内部を行き交う回避通路



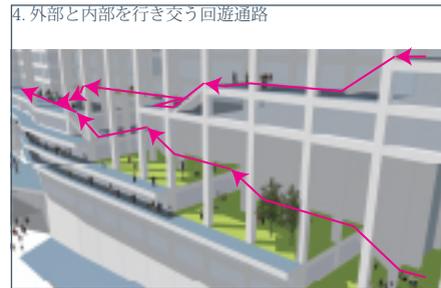
駅前広場に人がいたときに圧迫感を与えず、広場の連続性、開放感を考慮したボリュームの増減を行う。建築上部にいづくにつれ、機能に対し必要なボックスボリュームを附属させる。



垂直方向に伸びた吹き抜けや斜めに空いた吹き抜けは視覚的效果で階層と機能を結節させる。これにより、人々が訪れたい場を増加させる。



ビル内部に点在する広場は建築を立体広場とさせ、新宿中央公園まで結節する緑道の視点的役割を持つ。更に視覚的に東口と西口を結節し、開放感だけでなく、離れた東口との一体化を図る。



回避通路は点在する広場、吹き抜け、ボリュームを結節し、人々に回避性を与える。外部と内部を行き交うことで視覚的に広場と建築を結節する

07 動線計画と組み合わせ

駅前広場の段々は異なる空間を作り上げる。一つの空間が3棟に分かれて囲んでいる建築物まで広がっていく。そして駅前広場から連続していく段状は空間を区切るだけでなく視覚や空気、ひとの流れを形成していく。

